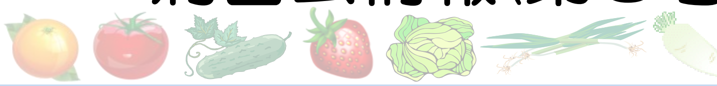
平成２６年度

病害虫情報(第８号) １１月予報



平 成 ２ ６ 年 １ ０ 月 ３ １ 日
神 奈 川 県 農 業 技 術 セ ン タ ー

病 害 虫 防 除 部　ＴＥＬ　0463－58－0333
イ ン タ ー ネ ッ ト　http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f450002/

【 内 容 】

Ⅰ 11月の主な病害虫の防除要否、発生・防除時期、防除の要点 ････････････････････････ 1
【水稲、カンキツ、抑制トマト、促成トマト、抑制キュウリ、促成イチゴ、ネギ、キャベツ、三浦野菜(キャベツ、ダイコン)】
Ⅱ 11月の病害虫発生予報の内容とその根拠 ･･ 9
Ⅲ 11月の気象予報(気象庁 地球環境･海洋部10月24日発表3か月予報)及び気象の経過 ･･･ 11

○ 農薬を使用する際は、製品に記載されている使用基準を必ず確認するとともに飛散防止に努めましょう。
○ 掲載農薬は一般的な場合を想定し、防除効果を優先して選定しています。
○ 収穫期の作物が近接している場合など、個別に残留基準値の設定状況を考慮する必要がある場合は関係機関にご相談ください。

※ 農薬に関する情報は、平成26年10月22日までの農薬登録情報に基づいて記載しています。

Ⅰ　11月の主な病害虫の防除要否、発生・防除時期、防除の要点

【 水　稲 】

[防除要否] ◎:追加防除が必要　○:通常防除　△:必要に応じて防除　×:防除の必要なし
[発生･防除時期] ──── 発生時期　～～～～ 多発時期　………… 感染時期　←───→ 防除適期

病害虫名	発生予想(平年比)	防除要否	発生・防除時期 11月 上	11月 中	11月 下	12月 上	防除のポイント
縞葉枯病（ひこばえ、水田内雑草、水田周辺雑草）	－	－	←────	────	────	────	※イネ縞葉枯病ウイルス媒介虫であるヒメトビウンカの越冬場所を減らす目的で次の対策を実施する ①「ひこばえ」や水田内雑草をうない込む。 ②冬期～春期の畦畔や休耕田の除草を徹底する。
スクミリンゴガイ越冬貝	－	－					※スクミリンゴガイ越冬貝生存率を下げる目的で次の対策を実施する ①貝殻を傷つけることができる細かい耕うん。 ②休耕田も発生源になるので、できるだけ①の対策を実施する。

病害虫情報 (H26・No.8) …… 神奈川県農業技術センター

【 カンキツ 】

［防除要否］◎:追加防除が必要　○:通常防除　△:必要に応じて防除　×:防除の必要なし
［発生・防除時期］ ――― 発生時期　～～～～ 多発時期　…… 感染時期　←――→ 防除適期

病害虫名	発生予想(平年比)	防除要否	発生・防除時期 11月 上	11月 中	11月 下	12月 上	防除のポイント
生育 〈生育調査:足柄地区事務所根府川分室・普通温州〉	並		《着色期》		《収穫期》		
貯蔵病害 青かび病　緑かび病 軸腐病　黒腐病	やや多	○	―――	←――→	―――	―――	❖収穫時に傷を付けないように注意し、傷果は貯蔵庫に持込まないようにする。
ミカンハダニ	やや多	○	――→	―――	―――	―――	❖収穫果を長期貯蔵する場合は防除する。

今月の防除

［使用時期］「収穫＊日前まで」を「＊日」に、「収穫前日まで」を「前日」に省略

貯蔵病害 青かび病 緑かび病 軸腐病 黒腐病	(予・治) ベフトップジンフロアブル　青かび病、緑かび病、軸腐病、黒腐病 みかん:[7日,3回] 1,500倍 みかんを除くかんきつ:[前日,2回] 1,500倍 (予・治) トップジンM水和剤　青かび病、緑かび病、軸腐病 [前日,5回] 2,000～3,000倍　等
ミカンハダニ	ダニサラバフロアブル [前日,2回] 1,000～2,000倍 オマイト水和剤 みかん:[7日,2回] 750倍 みかんを除くかんきつ:[14日,2回] 750倍　等

薬剤耐性菌の発生を防ぐために

※この欄の記載農薬は、病害虫情報に掲載(予定)されているものです。

◉ QoI剤は、薬剤耐性菌発生のリスクが高いので、1年間での使用回数を制限することが望ましい農薬です。
▸QoI剤(ストロビー、ファンタジスタ)
→単剤あるいはSDHI剤との混合剤(ナリア)の場合:1年1回
→その他の殺菌剤との混用の場合:1年2回

病害虫情報 (H26・No. 8) …… 神奈川県農業技術センター

【 抑制トマト 】

［防除要否］◎:追加防除が必要　○:通常防除　△:必要に応じて防除　×:防除の必要なし
［発生・防除時期］ ━━━ 発生時期　～～～～ 多発時期　…… 感染時期　←――→ 防除適期

病害虫名	発生予想(平年比)	防除要否	発生・防除時期 11月 上	11月 中	11月 下	12月 上	防除のポイント
タバココナジラミ	並	○	～～～～ ←――→	～～～～	━━━ ←――→	━━━	❖TYLCV(黄化葉巻病)を媒介。栽培終了時は施設内に越冬虫を残さないように、また施設外に出さないようにする。

今月の防除

［使用時期］「収穫＊日前まで」を「＊日」に、「収穫前日まで」を「前日」に省略

コナジラミ類 タバココナジラミ	サンマイトフロアブル［前日,2回］1,000～ 1,500倍 アルバリン 又は スタークル顆粒水溶剤［前日,2回］2,000～3,000倍 モスピラン顆粒水溶剤［前日,3回］2,000倍 サンクリスタル乳剤［前日,－］300倍　等
★ 農薬使用のポイント	
	◉ モスピラン:アザミウマ類、アブラムシ類にも適用あり。

【 促成トマト 】

［防除要否］◎:追加防除が必要　○:通常防除　△:必要に応じて防除　×:防除の必要なし
［発生・防除時期］ ━━━ 発生時期　～～～～ 多発時期　…… 感染時期　←――→ 防除適期

病害虫名	発生予想(平年比)	防除要否	発生・防除時期 11月 上	11月 中	11月 下	12月 上	防除のポイント
タバココナジラミ	並	○	━━━ ←―――	━━━ ―――	━━━ ―――→	(定植) ←――→	❖TYLCV(黄化葉巻病)を媒介。感染防止には、育苗施設の防虫ネット(0.4mm)展張、育苗期の粒剤施用を徹底する。
アブラムシ類	－	○	☞施設内外の除草を徹底するとともに、栽培に関係のない鉢物等を施設内に持ち込まないこと。				❖CMV等(モザイク病)を媒介。
アザミウマ類	－	○					❖TSWV(黄化えそ病)を媒介。
ハモグリバエ類	－	○					

今月の防除

［使用時期］「収穫＊日前まで」を「＊日」に、「収穫前日まで」を「前日」に省略

コナジラミ類 タバココナジラミ アブラムシ類 アザミウマ類 ハモグリバエ類	【育苗期:株元施用】 アルバリン 又は スタークル粒剤［育苗期,1回:株元散布］ コナジラミ類、ハモグリバエ類:1～2g/株 アドマイヤー１粒剤［育苗期後半,1回:株元散布］ コナジラミ類:0.5～1g/株 【育苗期:散布】 ベストガード水溶剤［前日,3回］ コナジラミ類、アブラムシ類:1,000～2,000倍、アザミウマ類:1,000倍 コルト顆粒水和剤［前日,3回］コナジラミ類、アブラムシ類:4,000倍 【定植時:植穴施用】 モスピラン粒剤［定植時,1回:植穴土壌混和］ コナジラミ類、アブラムシ類、トマトハモグリバエ:1g/株 ダントツ粒剤［定植時,1回:植穴処理土壌混和］ コナジラミ類、アブラムシ類、マメハモグリバエ:1～2g/株 トマトハモグリバエ:2g/株　等

薬剤耐性菌の発生を防ぐために　※この欄の記載農薬は、病害虫情報に掲載(予定)されているものです。

◉ QoI剤とSDHI剤は、薬剤耐性菌発生のリスクが高いので、1作での使用回数を制限することが望ましい農薬です。
- ▸ QoI剤(アミスター２０、ファンタジスタ)
  - →単剤あるいはSDHI剤との混用の場合:1作1回
  - →SDHI剤以外の殺菌剤との混用もしくは混合剤(アミスターオプティ、ホライズン)の場合:1作2回
- ▸ SDHI剤(アフェット、カンタス)
  - →単剤あるいはQoI剤との混用の場合:1作1回
  - →QoI剤以外の殺菌剤との混用の場合:1作2回

病害虫情報（H26・No. 8） …… 神奈川県農業技術センター

【 抑制キュウリ 】

［防除要否］◎:追加防除が必要　○:通常防除　△:必要に応じて防除　×:防除の必要なし
［発生・防除時期］ ――― 発生時期　～～～～ 多発時期　…… 感染時期　←――→ 防除適期

病害虫名	発生予想（平年比）	防除要否	発生・防除時期 11月 上	11月 中	11月 下	12月 上	防除のポイント
べと病	並	○	～～～～ ←――→	～～～～ ←―	～～～～ ―→	～～～～ ←――→	❖草勢低下と夜間の結露等による葉の濡れが発生を助長する。
うどんこ病	やや多	○					❖乾燥で発生が助長されるので、日中の過乾燥に注意する。
褐斑病	並	○					❖多湿状態で施設を密閉すると蔓延しやすく、夜間の結露等による葉の濡れが発生を助長する。
タバココナジラミ	並	○	～～～～ ←―	～～～～ ―→	～～～～ ←―	――― ―→	❖CCYV（退緑黄化病）を媒介。
ミナミキイロアザミウマ	やや多	○					❖MYSV（黄化えそ病）を媒介。

☞施設内外の除草を徹底するとともに、栽培に関係のない鉢物等を施設内に持ち込まないこと。

今月の防除

［使用時期］「収穫＊日前まで」を「＊日」に、「収穫前日まで」を「前日」に省略

べと病

（予・治）ランマンフロアブル［前日,4回］1,000～2,000倍
（予・治）ホライズンドライフロアブル［前日,3回］2,500倍
（予・治）ハチハチ乳剤［前日,2回］1,000倍　等

★ 農薬使用のポイント

- ホライズン:シモキサニルとファモキサドンを含む混合剤。シモキサニルを含む剤にはベトファイター等がある。

うどんこ病

（予）インプレッション水和剤［発病前～発病初期,－］500～1,000倍
（予・治）ベルクートフロアブル［前日,5回］2,000倍
（予・治）パンチョＴＦ顆粒水和剤［前日,2回］2,000倍
（予・治）ハチハチ乳剤［前日,2回］1,000倍　等

★ 農薬使用のポイント

- ベルクート:灰色かび病にも適用あり。
- パンチョＴＦ:トリフルミゾールとシフルフェナミドを含む混合剤。トリフルミゾールを含む剤にはトリフミン等がある。

褐斑病

（予・治）ベルクートフロアブル［前日,5回］2,000倍
（予・治）スミブレンド水和剤［前日,5回］1,500～2,000倍
（予・治）ハチハチ乳剤［前日,2回］1,000倍　等

★ 農薬使用のポイント

- スミブレンド:灰色かび病、菌核病(1,500倍)にも適用あり。
- スミブレンド:ジエトフェンカルブとプロシミドンを含む混合剤。ジエトフェンカルブを含む剤にはゲッター等がある。プロシミドンを含む剤にはスミレックス等がある。

コナジラミ類
タバココナジラミ
アザミウマ類
ミナミキイロアザミウマ

ハチハチ乳剤［前日,2回］ 1,000～2,000倍
アルバリン 又は スタークル顆粒水溶剤［前日,2回］
コナジラミ類:2,000～3,000倍、アザミウマ類:2,000倍
コテツフロアブル［前日,3回］ミナミキイロアザミウマ:2,000倍　等

★ 農薬使用のポイント

- ハチハチ:アブラムシ類(1,000～2,000倍)にも適用あり。
- アルバリン、スタークル:アブラムシ類(2,000～3,000倍)にも適用あり。
- コテツ:ミカンキイロアザミウマ、ハダニ類にも適用あり。

薬剤耐性菌の発生を防ぐために　※この欄の記載農薬は、病害虫情報に掲載（予定）されているものです。

- QoI剤とSDHI剤は、薬剤耐性菌発生のリスクが高いので、1作での使用回数を制限することが望ましい農薬です。
  - ▸ QoI剤（アミスター２０、ファンタジスタ）
    →単剤あるいはSDHI剤との混用の場合:1作1回
    →SDHI剤以外の殺菌剤との混用もしくは混合剤（アミスターオプティ、ファンベル、ホライズン）の場合:1作2回
  - ▸ SDHI剤（アフェット、カンタス）
    →単剤あるいはQoI剤との混用の場合:1作1回
    →QoI剤以外の殺菌剤との混用の場合:1作2回

病害虫情報 (H26・No.8) …… 神奈川県農業技術センター

【 促成イチゴ 】

［防除要否］◎:追加防除が必要　○:通常防除　△:必要に応じて防除　×:防除の必要なし
［発生・防除時期］ ━━━ 発生時期　～～～～ 多発時期　…… 感染時期　←――→ 防除適期

病害虫名	発生予想(平年比)	防除要否	発生・防除時期 11月 上	11月 中	11月 下	12月 上	防除のポイント
うどんこ病	多	○	━━←――→	━━	━━←――→	━━	
アブラムシ類	やや多	○	━━←――→	━━	━━←――→	━━	
ハスモンヨトウ	やや少	○	～～～～←――→	～～～～	～～～～←――→	━━	
ハダニ類	やや多	○	━━←――→	━━	━━	━━	

今月の防除

［使用時期］「収穫＊日前まで」を「＊日」に、「収穫前日まで」を「前日」に省略

うどんこ病

(予) インプレッション水和剤 [発病前～発病初期,－] 500～1,000倍
(予) タフパール [発病前～発病初期,－] 2,000～4,000倍
(予) フルピカフロアブル [前日,3回] 2,000～3,000倍
(治) サンクリスタル乳剤 [前日,－] 300～600倍
(治) カリグリーン [前日,－] 800～1000倍
(予・治) アフェットフロアブル [前日,3回] 2,000倍　等

★ 農薬使用のポイント
- インプレッション:灰色かび病にも適用あり。果実汚れが問題となる時期には2,000倍(イチゴ適用)散布とする。
- タフパール:展着剤ニーズを加用しない。
- フルピカ:灰色かび病にも適用あり。

アブラムシ類

ウララＤＦ [前日,2回] 2,000～4,000倍
サンクリスタル乳剤 [前日,－] 300倍　等

★ 農薬使用のポイント
- サンクリスタル:コナジラミ類にも適用あり。

ハスモンヨトウ

プレバソンフロアブル５ [前日,2回] 2,000倍
トルネードエースＤＦ [前日,2回] 2,000倍
マッチ乳剤 [前日,4回] 3,000倍　等

★ 農薬使用のポイント
- マッチ(1,000～2,000倍):ミカンキイロアザミウマにも適用あり。

ハダニ類

コロマイト水和剤 [前日,2回] 2,000倍
サンクリスタル乳剤 [前日,－] 300～600倍　等

★ 農薬使用のポイント
- コロマイト:シクラメンホコリダニにも適用あり。

ミツバチへの影響

- 農薬散布の際は、巣箱を施設から出し、巣箱を再導入する前には、換気を十分に行い、薬液が乾いていることを確認すること。
- 影響のある剤:アフェット(1日)、コロマイト(1日)

ミヤコカブリダニ、チリカブリダニへの影響　(アリスタライフサイエンス　作物保護製品ガイド2014より)

- 影響のある剤:サンクリスタル（多少影響あり）、コロマイト(影響あり)

薬剤耐性菌の発生を防ぐために　※この欄の記載農薬は、病害虫情報に掲載(予定)されているものです。

- QoI剤とSDHI剤は、薬剤耐性菌発生のリスクが高いので、1作での使用回数を制限することが望ましい農薬です。
  - QoI剤(アミスター２０、ストロビー、ファンタジスタ)
    →単剤の場合:1作1回
    →その他の殺菌剤との混用もしくは混合剤(ファンベル)の場合:1作2回
  - SDHI剤(アフェット、カンタス)
    →単剤の場合:1作1回
    →その他の殺菌剤との混用の場合:1作2回

病害虫情報 (H26・No.8) …… 神奈川県農業技術センター

【ネ　ギ】

［防除要否］◎:追加防除が必要　○:通常防除　△:必要に応じて防除　×:防除の必要なし

［発生・防除時期］━━━ 発生時期　～～～～ 多発時期　…… 感染時期　←――→ 防除適期

病害虫名	発生予想(平年比)	防除要否	発生・防除時期 11月 上	11月 中	11月 下	12月 上	防除のポイント
さび病	並	○	～～～～ ←――→	～～～～	～～～～ ←――→	━━━	
黒斑病	並	○					
ネギアザミウマ	やや多	○	━━━ ←――→	━━━	━━━	━━━	
シロイチモジヨトウ	やや少	○					

今月の防除

［使用時期］「収穫＊日前まで」を「＊日」に、「収穫前日まで」を「前日」に省略

さび病 黒斑病	(予・治) アミスター２０フロアブル [3日,4回] 2,000倍　等 ★ 農薬使用のポイント ◉ アミスター:べと病にも適用あり。
ネギアザミウマ シロイチモジヨトウ	アニキ乳剤 [3日,3回] ネギアザミウマ:1,000倍、シロイチモジヨトウ:1,000～2,000倍 ベストガード水溶剤 [前日,3回] ネギアザミウマ:1,000倍 スピノエース顆粒水和剤 [3日,3回] アザミウマ類:2,500～5,000倍、シロイチモジヨトウ:5,000倍　等

【キャベツ】

［防除要否］◎:追加防除が必要　○:通常防除　△:必要に応じて防除　×:防除の必要なし

［発生・防除時期］━━━ 発生時期　～～～～ 多発時期　…… 感染時期　←――→ 防除適期

病害虫名	発生予想(平年比)	防除要否	発生・防除時期 11月 上	11月 中	11月 下	12月 上	防除のポイント
菌核病	－	○	～～～～ ←――→	～～～～ ←――→	～～～～ ←――→	━━━	❖被害株は感染源になるため、速やかに除去する。
コナガ	やや多	○	～～～～ ←――→	～～～～ ←――→	～～～～ ←――→	━━━	
ハスモンヨトウ	やや少	○					
オオタバコガ	並	○					

今月の防除

［使用時期］「収穫＊日前まで」を「＊日」に、「収穫前日まで」を「前日」に省略

菌核病	(予) セイビアーフロアブル２０ [3日,3回] 1,000倍 (予・治) トップジンM水和剤 [3日,2回] 1,000～1,500倍 (予・治) カンタスドライフロアブル [7日,2回] 1,500倍　等
コナガ ハスモンヨトウ オオタバコガ	アニキ乳剤 [3日,3回] 1,000～2,000倍 アクセルフロアブル [前日,3回] コナガ:1,000倍、ハスモンヨトウ、オオタバコガ:1,000～2,000倍　等

病害虫情報 (H26・No.8) …… 神奈川県農業技術センター

三浦半島地区野菜

【キャベツ】

［防除要否］◎:追加防除が必要　○:通常防除　△:必要に応じて防除　×:防除の必要なし
［発生・防除時期］━━━ 発生時期　～～～～ 多発時期　…… 感染時期　←――→ 防除適期

病害虫名	発生予想(平年比)	防除要否	発生・防除時期 11月 上	11月 中	11月 下	12月 上	防除のポイント
黒腐病	並	○	←――→	━━━	←――→	━━━	
菌核病	－	○	←――→	━━━	━━━	━━━	❖被害株は感染源になるため、速やかに除去する。
コナガ	やや多	○	～～～～ ←――→	～～～～	～～～～ ←――→	━━━	
ハスモンヨトウ	やや少	○					
オオタバコガ	やや多	○					

今月の防除

［使用時期］「収穫＊日前まで」を「＊日」に、「収穫前日まで」を「前日」に省略

黒腐病	(予) Zボルドー［－,－］500倍 (予・治) カセット水和剤［7日,3回］1,000倍　等 ★ 農薬使用のポイント ◉ Zボルドー:薬害が懸念される場合は、クレフノン(100～200倍)を加用する。結球後に使用すると薬害を生じる可能性があるので注意する。べと病、軟腐病にも適用あり。 ◉ カセット:軟腐病にも適用あり。 ◉ カセット:オキソリニック酸とカスガマイシンの混合剤。スターナ、ナレート等はオキソリニック酸を含む。カスミンボルドー等はカスガマイシンを含む。
菌核病	(予・治) セイビアーフロアブル２０［3日,3回］1,000倍 (予・治) トップジンM水和剤［3日,2回］1,000～1,500倍　等
コナガ ハスモンヨトウ オオタバコガ	アニキ乳剤［3日,3回］1,000～2,000倍 アクセルフロアブル［前日,3回］ コナガ:1,000倍、ハスモンヨトウ、オオタバコガ:1,000～2,000倍　等

病害虫情報 (H26・No.8) …… 神奈川県農業技術センター

三浦半島地区野菜

【ダイコン】

［防除要否］◎:追加防除が必要　○:通常防除　△:必要に応じて防除　×:防除の必要なし
［発生・防除時期］ ――― 発生時期　～～～～ 多発時期　…… 感染時期　←――→ 防除適期

病害虫名	発生予想(平年比)	防除要否	発生・防除時期 11月 上	11月 中	11月 下	12月 上	防除のポイント
黒斑細菌病	並	○	←――→	―――	←――→	―――	❖肥料切れしないよう適正な肥培管理をする。
白さび病(ワッカ症)	並	○	←――→	―――	―――	―――	❖ワッカ症の防除のために11月上旬に薬剤散布を行うこと。
ナモグリバエ	やや多	○	～～～～ ←――→	―――	――― ←――→	―――	
アブラムシ類	やや多	○					
コナガ	やや多	○					

今月の防除

［使用時期］「収穫＊日前まで」を「＊日」に、「収穫前日まで」を「前日」に省略

黒斑細菌病	(予) Zボルドー［－,－］500倍 (予・治) カセット水和剤［14日,3回］1,000倍　等 ★ 農薬使用のポイント ◉ Zボルドー:薬害が懸念される場合は、クレフノン(100～200倍)を加用する。軟腐病にも適用あり。 ◉ カセット:軟腐病にも適用あり。 ◉ カセット:オキソリニック酸とカスガマイシンの混合剤。スターナ等はオキソリニック酸を含む。カスミンボルドー等はカスガマイシンを含む。
白さび病（ワッカ症）	(予・治) ハチハチ乳剤［14日,2回］1,000倍 (予・治) ランマンフロアブル［3日,3回］2,000倍　等
ナモグリバエ アブラムシ類 コナガ	ハチハチ乳剤［14日,2回］1,000～2,000倍 アドマイヤーフロアブル［14日,2回］アブラムシ類:4,000倍 スピノエース顆粒水和剤［7日,3回］コナガ:2,500～5,000倍　等

Ⅱ　11月の病害虫発生予報の内容とその根拠

作物名	病害虫名	発生量		予報の根拠
		程度	平年比	
カンキツ	貯蔵病害 青かび病 緑かび病 黒腐病 軸腐病	－	やや多	1) 果実の青かび病、緑かび病等の樹上発病は平年よりやや多い。(＋) 2) 黒点病の発生は、巡回調査および県予察ほ(根府川)とも平年より少ないため、軸腐病の発生は平年より少ないと予想される。(－) 3) 本年の着果量は平年よりやや多(＋)、果皮の厚さは平年並(±)、減酸は平年よりやや早い(＋)。 4) 気温は平年並か高く、降水量は平年並の予報。(＋)
	ミカンハダニ	少	やや多	1) 巡回調査では、発生が平年より多い。(＋) 2) 県予察ほ(根府川)では、発生が平年より少ない。(－) 3) 気温は平年並か高く、降水量は平年並の予報。(＋)
抑制トマト 促成トマト	タバココナジラミ	少	並	1) 抑制トマトの巡回調査では、発生が5年平均並。(±) 2) 野外設置(伊勢原)の黄色粘着板へのコナジラミ類の誘殺数は、6年平均より少ない。(－) 3) 気温は平年並か高く、降水量は平年並の予報。(＋)
抑制キュウリ	べと病	少	並	1) 巡回調査では、発生が平年並。(±) 2) 気温は平年並か高く、降水量は平年並の予報。(±)
	うどんこ病	中	やや多	1) 巡回調査では、発生が平年よりやや多い。(＋) 2) 気温は平年並か高く、降水量は平年並の予報。(±)
	褐斑病	少	並	1) 巡回調査では、発病は見られず、発生が平年より少ない。(－) 2) 気温は平年並か高く、降水量は平年並の予報。(±)
	タバココナジラミ	少	並	1) 巡回調査では、発生が過去8年平均より少ない。(－) 2) 気温は平年並か高く、降水量は平年並の予報。(＋)
	ミナミキイロアザミウマ	少	やや多	1) 巡回調査では、発生が平年より多い。(＋) 2) 気温は平年並か高く、降水量は平年並の予報。(＋)
促成イチゴ	うどんこ病	少	多	1) 巡回調査では、発生が平年より多い。(＋) 2) 気温は平年並か高く、降水量は平年並の予報。(±)
	アブラムシ類	少	やや多	1) 巡回調査では、発生が平年よりやや多い。(＋) 2) 気温は平年並か高く、降水量は平年並の予報。(＋)
	ハダニ類	少	やや多	1) 巡回調査では、発生が平年並。(±) 2) 気温は平年並か高く、降水量は平年並の予報。(＋)
ネギ	さび病	少	並	1) 巡回調査では、発病は見られず、発生が平年並。(±) 2) 気温は平年並か高く、降水量は平年並の予報。(±)
	黒斑病	少	並	1) 巡回調査では、発生が平年並。(±) 2) 気温は平年並か高く、降水量は平年並の予報。(±)
	ネギアザミウマ	多	やや多	1) 巡回調査では、発生が平年よりやや多い。(＋) 2) 気温は平年並か高く、降水量は平年並の予報。(＋)
	シロイチモジヨトウ	－	やや少	1) フェロモントラップへの誘殺数は、横浜、三浦ともに平年より少ない。(－) 2) 県予察ほ(上吉沢)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年より少ない。(－) 3) 気温は平年並か高く、降水量は平年並の予報。(＋)

※「発生量」…… 程度:甚＞多＞中＞少＞無　平年比:多＞やや多＞並＞やや少＞少
「予報の根拠」……(＋):多発要因　(－):少発要因

病害虫情報　（H26・No.8）　…… 神奈川県農業技術センター

作物名	病害虫名	発生量		予報の根拠
		程度	平年比	
キャベツ（三浦半島地区を除く）	コナガ	少	やや多	1) 巡回調査では、発生が平年よりやや多い。(＋) 2) 横浜のフェロモントラップへの誘殺数は、平年より多い。(＋) 3) 県予察ほ(上吉沢)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年並。(±) 4) 気温は平年並か高く、降水量は平年並の予報。(＋)
露地野菜全般（三浦半島地区を除く）	ハスモンヨトウ	－	やや少	1) キャベツの巡回調査およびダイコンの巡回調査では、発生が平年よりやや少ない。(－) 2) 横浜のフェロモントラップへの誘殺数は、平年並。(±) 3) 県予察ほ(上吉沢)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年より少ない。(－) 4) 気温は平年並か高く、降水量は平年並の予報。(＋)
	オオタバコガ	－	並	1) キャベツの巡回調査では、発生が平年よりやや少ない。(－) 2) 横浜のフェロモントラップへの誘殺数は、やや少ない。(－) 3) 県予察ほ(上吉沢)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年より多い。(＋) 4) 気温は平年並か高く、降水量は平年並の予報。(＋)
三浦半島地区野菜				
キャベツ	黒腐病	少	並	1) 巡回調査では、発病は見られず、発生が平年並。(±) 2) 気温は平年並か高く、降水量は平年並の予報。(±)
	コナガ	少	やや多	1) 巡回調査では、発生が平年並。(±) 2) 三浦のフェロモントラップへの誘殺数は、平年並。(±) 3) 気温は平年並か高く、降水量は平年並の予報。(＋)
ダイコン	黒斑細菌病	少	並	1) 巡回調査では、発病は見られず、発生が平年並。(±) 2) 気温は平年並か高く、降水量は平年並の予報。(±)
	白さび病	少	並	1) 巡回調査では、発病は見られず、発生が平年並。(±) 2) 気温は平年並か高く、降水量は平年並の予報。(±)
	ナモグリバエ	少	やや多	1) 巡回調査では、発生が平年並。(±) 2) 気温は平年並か高く、降水量は平年並の予報。(＋)
	アブラムシ類	少	やや多	1) 巡回調査では、発生が平年よりやや多い。(＋) 2) 気温は平年並か高く、降水量は平年並の予報。(＋)
	コナガ	少	やや多	1) 巡回調査では、発生が平年並。(±) 2) 三浦のフェロモントラップへの誘殺数は、平年並。(±) 3) 気温は平年並か高く、降水量は平年並の予報。(＋)
露地野菜全般	ハスモンヨトウ	－	やや少	1) キャベツの巡回調査では、発生が平年より少ない。(－) 2) 三浦のフェロモントラップへの誘殺数は、平年より少ない。(－) 3) 気温は平年並か高く、降水量は平年並の予報。(＋)
	オオタバコガ	－	やや多	1) キャベツの巡回調査では、寄生は見られず、発生が前年並み。(±) 2) 三浦のフェロモントラップへの誘殺数は、平年並。(±) 3) 気温は平年並か高く、降水量は平年並の予報。(＋)

※「発生量」…… 程度:甚＞多＞中＞少＞無　平年比:多＞やや多＞並＞やや少＞少
「予報の根拠」…… (＋):多発要因　(－):少発要因

Ⅲ　11月の気象予報（気象庁 地球環境・海洋部10月24日発表3か月予報）及び気象の経過

〈天　　気〉

平年と同様に晴れの日が多いでしょう。気温は、平年並または高い確率ともに40％です。

〈要素別予報〉

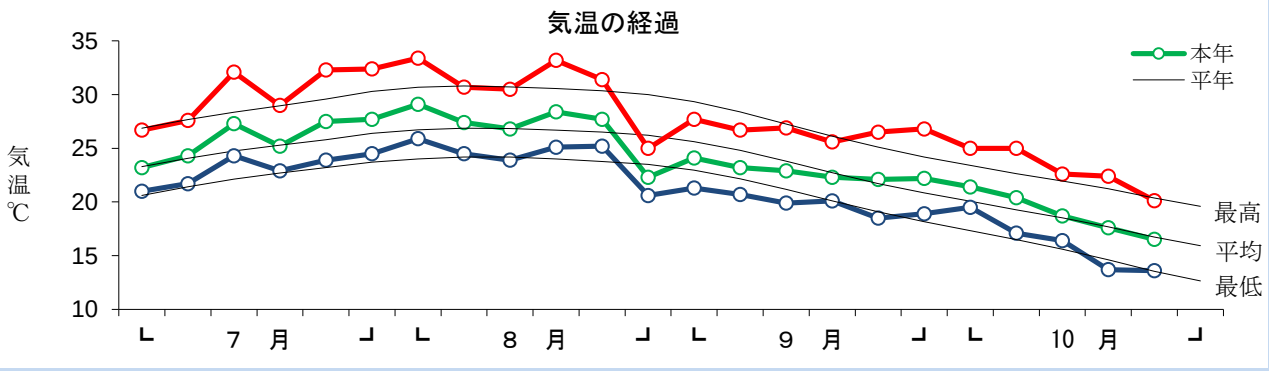
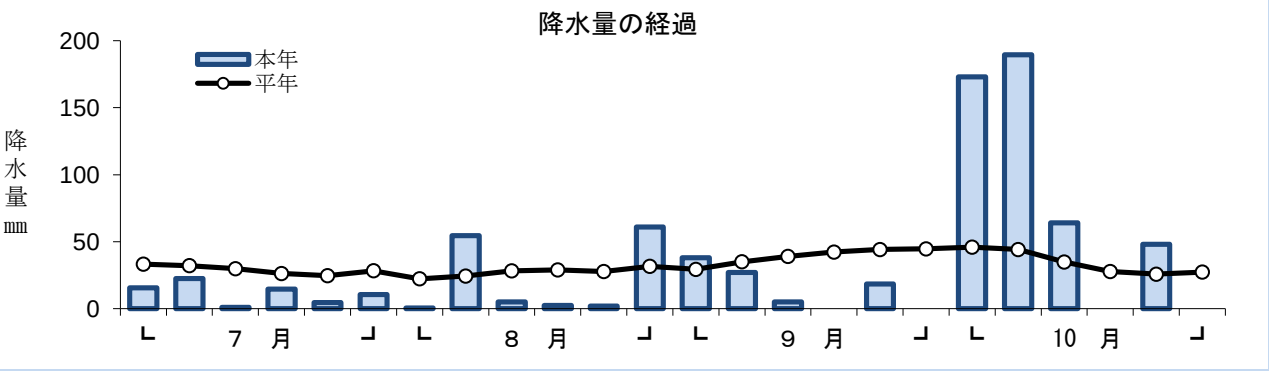
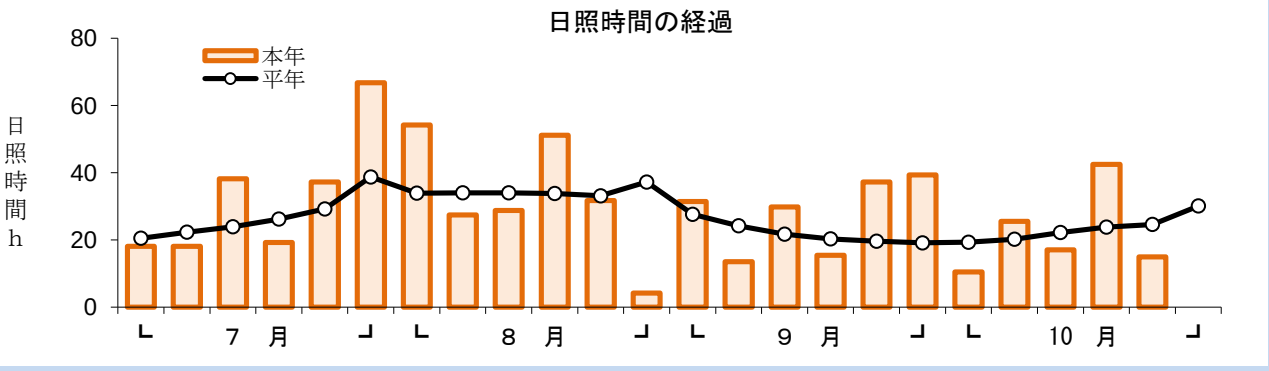
	低い（少ない）	平年並	高い（多い）
気　　温	20%	40%	40%
降　水　量	30%	40%	30%

〈気象の経過〉［観測地　横浜地方気象台］

10月第5半旬まで

気温は、1～2半旬は平年より高く、3～5半旬は平年並だった。

降水量は、1～3，5半旬は平年より多く、4半旬は平年より少なかった。

日照時間は、1，3，5半旬は平年より少なく、2，4半旬は平年より多かった。

＊台風18号：10/6通過、台風19号：10/13～14通過